

ささ舟-SASABUNE-

患者様×地域×佐々総合病院をつなぐコミュニケーションマガジン



戸田中央医科グループ
Toda Medical Group

佐々総合病院

東京都災害拠点病院

広域 災害 訓練



Vol.30 佐々総合病院
2020.01.01

ご自由にお持ち帰りください
Feel free to take



地域対談

西東京市 市長
西東京市(旧 保谷市)出身

丸山浩一

佐々総合病院 院長
西東京市(旧 田無市)出身

鈴木隆文

鈴木:今回はお忙しい中、お時間をいただきありがとうございます。市長とは西東京市出身で、かつ医師でもあるということで、共通点が多く勝手に親近感を持たせていただいております(笑)。今回は、西東京市の災害医療のお話しを中心に伺えればと思いますので、よろしくお願いいたします。

丸山:こちらこそ、よろしくお願いいたします。佐々総合病院は、地元にも古くからある病院なので、私もよく知っています。父もこの地で医師をしておりましたので、父の代からのつながりではないかと思えます。前理事長の故 佐々英達先生、現理事長の横川秀男先生もよく存じ上げております。

鈴木:お父様の代となるとかなり長い歴史がありますね。さて今回は、西東京市の災害医療について伺っていきたいのですが、まず、12月7日(土)の災害医療訓練は、西東京市、西東京消防署、西東京市医師会など多くの団体の皆様と協力して実施することができました。本当にありがとうございました。(災害訓練の様子は次頁で紹介しております。)

丸山:こちらこそありがとうございました。市としても災害医療の充実が急務です。体制整備についてはまだまだ不十分なところを段階的に進めています。今回は、鈴木院長からの呼びかけもあり、東京都災害拠点病院※1である佐々総合病院と、西東京市が開設する医療救護所との連携に主眼を置き、本格的に訓練を行うことができました。災害時は、自治体、医師会、病院、消防署、地域町会等が、いかに連携を密にしていくかということが非常に大切になってきます。今回の訓練で見えてきたことは、今後の災害医療体制構築には大いに役立つものでした。

※1…災害拠点病院

日本において、地震・津波・台風・噴火等の災害発生時に災害医療を行う医療機関を支援する病院のことです。佐々総合病院は1997年東京都より災害拠点病院に指定されております。

※2…西東京市が発災時に開設する医療救護所

1.保谷第一小学校 2.谷戸小学校 3.田無小学校 4.田無第一中学校 5.田無第四中学校 6.保谷中学校

詳しくはURLをご覧ください ⇒https://www.city.nishitokyo.lg.jp/smph/kurasi/iza/bosai/hinanjo/saigaiji_iryokyugo.html

※3…トリアージ

医師や看護師等が負傷者の状況を確認し、重症度・緊急度を判断すること。

トリアージタグという札を利用して優先度を表わします。

鈴木:当院も東京都災害拠点病院ということで、今までも院内では訓練を年3回程実施しております。しかし、災害時は当院だけで完結するはずがなく、必ず、西東京市、消防署、近隣病院等との連携が必要になります。そこを訓練してこそ本当の災害対策に繋がるかと思い、今回皆さまに声をかけさせていただきました。

丸山:西東京市では、発災時、医療救護所は全6カ所設置※2します。それぞれの救護所に医師会の先生方が参集をすることになっており、トリアージ※3や軽症者の治療を行います。その中に重症者がいれば、病院に搬送する必要があります。まさにその時に病院との連携が肝となるのです。西東京市は市立病院がないので、災害時の重症患者の受け入れは、佐々総合病院のような民間病院に期待しているところです。今後は、市内の他の病院とも連携していければ、西東京市の災害医療はより盤石になると思います。

鈴木:そうですね。災害時の被害状況は想定されているとはいえ、いざ起こってみないとどれぐらいの傷病者が出るのかは実際のところ予想がつかえません。また、当院だけでその傷病者をカバーできるとも考えておりません。ですので、今後は、近隣医療機関の皆様にも呼びかけをして、お力をお借りしながら西東京市の災害医療を守る体制を構築していきたいと考えております。

丸山:それはありがたいですね。市としても、災害医療に加えて、避難所運営整備、備蓄品の充実や効率的な活用方法の確立など、できることから順次着手していきます。今後ともご協力お願い致します。

鈴木:こちらこそよろしくお願いいたします。(以上)



丸山 浩一 Koichi Maruyama

第3代 西東京市長

西東京市(旧 保谷市)出身

学生時代からラグビー選手として活躍。

1991年ラグビーワールドカップ日本代表のチームドクター

昭和48年 東京慈恵会医科大学卒業

昭和50年 東京慈恵会医科大学心臓血管外科入局

昭和58年 東京都立豊島病院心臓血管外科医長

平成10年 東京都衛生局健康推進部成人保健課長

多摩小平保健所長、福祉保健局保健政策

部長、福祉保健局医療政策部長を歴任

平成18年 東京都児童相談センター所長

平成24年 東京都児童相談センター所長退任

平成25年 西東京市長就任

Wide Area Disaster Drill

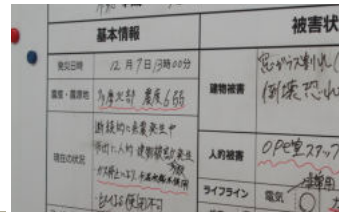
広域災害訓練

12月7日(土)、多摩直下地震 震度6.0を想定した「広域災害訓練」を実施しました。当院ではこれまでも年数回、大規模な災害訓練を開催してきましたが、今回は西東京市と合同で開催し、一般の方の訓練見学を受け入れました。地域の皆さまに当院の取り組みを知っていただくと同時に、災害医療に対する理解を深めていただく機会となりました。

【対策本部】
3号館4階に設置。
院長を本部長に
幹部陣が集結。



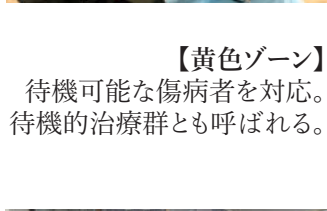
【基本情報・被害状況】
災害の情報を
ホワイトボードに記載。



【トリアージポスト】
手当ての緊急度に従って優
先順をつける。



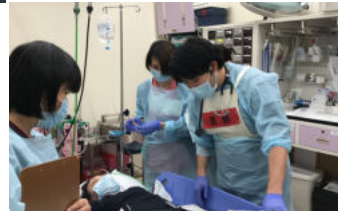
【緑ゾーン】
軽症・歩行可能な傷病者を
対応。
軽処置群とも呼ばれる。



【黄色ゾーン】
待機可能な傷病者を対応。
待機的治療群とも呼ばれる。



【赤ゾーン】
直ちに処置を行えば、
救命が可能な人を対応。



【展示スペース】
「東京都応急資器材」「D M
A T 装備」「救急医療情報キ
ット」の実物などを展示。



【見学者受け入れ】
町内会の方々をはじめとした
地域の皆さまに、訓練中の
院内を自由に見学いただき
ました。



Director Greeting

副院長就任のご挨拶



Tomoko Izawa

井澤朋子

佐々総合病院副院長。専門は産婦人科。

- 医学博士
- 日本産科婦人科学会専門医・指導医
- 母体保護法指定医
- 日本周産期・新生児医学会周産期専門医

多様な視点を持つ柔軟な組織を目指して

新年あけましておめでとうございます。地域の皆さま、職員の皆さま、また病院に関係する全ての方々のおかげをもちまして、無事に新年を迎えられることができました。2020年を迎え、医療の世界でも変化への対応が求められることになりそうです。

佐々総合病院におきましても、新年より横川秀男理事長、鈴木隆文院長のご推挙のもと、私井澤が副院長を務めさせていただくこととなりました。誠心誠意、西東京地域周辺の皆さまの健康管理のお手伝いをさせていただけるよう努めてまいりますので、どうぞよろしく申し上げます。

さて、時代の要求が多様化している現在、当院も昨年から私を中心にダイバーシティー・マネジメントに着手させていただきました。ダイバーシティー・マネジメントとは、人種・国籍・性・年齢は問わずに人材活用する「人材と働き方の多様化(多様性)」を意味します。ダイバーシティー・マネジメントを進めることで、活躍できる多様な人材の雇用を実現し、佐々総合病院を多様な視点を持つ柔軟な組織として成長することを目指しています。

最後になりますが、佐々総合病院の100年以上の歴史におごることなく、新たな進化を目指し尽力していきたいと考えていますので、ご指導いただきますようよろしくお願い申し上げます。

2020.1.1 佐々総合病院 副院長 井澤朋子

KYT Karuta

KYTかるた



Kiken Yochi Training



形成外科 部長
堀口雅敏

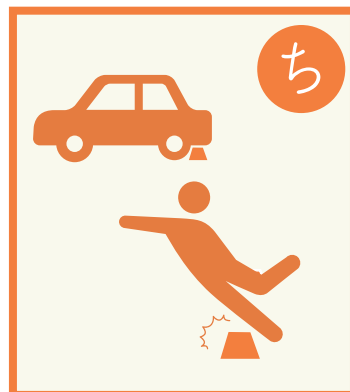
日常に潜むケガのきっかけを未然に見つけるトレーニング、危険(Kiken)予知(Yochi)訓練(Training)、略してKYT。

ささ舟では、いろはカルタ形式でケガしやすい場面を紹介していきます。どうぞ皆さんも一度身の回りでKYTしてみてください。



ドアの隙間

ドアを開けた時の蝶番側にできる小さな隙間。ほんの一瞬の間に子供はそこに指を突っ込んで、大人は気づかず勢いよくドアを閉めたら…。小さいお子さんがいるご家庭は「うちの子に限って」と思い込まず、ぜひ一度子供がどこにいるか確認してドアを開めてください。



駐車場の車止め

スーパーの駐車場やコインパーキングの中に点々と置かれた車止め。自分の車に辿り着こうと遠くを見ながら歩いているとこれにつまずいて転倒することがあります。特に夕方薄暗い時間帯に両手に買い物袋を下げているとさらに危険度が増します。

Chronology

創立111年年表 - 西東京の歴史と共に - No.2 (1975~2019年)

1908年に西東京の地で創立した佐々総合病院は2019年を持ちまして111年を迎えました。これを記念し、病院と西東京の歴史年表作成にあたり佐々総合病院では西東京の歴史にまつわる写真を募集しています。詳しくは本紙の裏表紙をご確認ください。

1983

医療法人社団時正会設立
初代理事長 佐々正達

1986

3代目院長 佐々英達就任
1号館完成 (86床)
理事長 佐々正達 勲五等双光旭日章



1987

第一若草寮・保育所新築完成
(鉄筋コンクリート造5階建)
2号館完成 (57床)

1988

2代目理事長 佐々英達就任

1989

3号館完成 (89床)
全面増改築終了(合計232床)
佐々総合病院に定款変更

1990

第二若草寮新築完成
(ユニット建築2・3階建 各一棟)

1995

佐々訪問看護ステーション開設

1997

「東京都災害時後方医療施設」
「災害拠点病院」に指定



1998

4代目院長 平塚秀雄就任

1999

理事長 佐々英達(社)全日本病院
会長に就任

2003

特別医療法人へ移行
(東京都第一号)
病後児保育室「ばんだ

1980



1988

田無タワーがでる

1996

田無駅北口駅前
交通広場ができる



1995

田無駅再開発ビル
「アスタ」開設



2002

はなバス運行開始

Medical Recipe

佐々っとレシピ -お豆腐ぜんざい-

今回はお正月ということでお餅風のレシピを紹介したいと思います。

上新粉に絹ごし豆腐を混ぜると歯切れのいいお餅風に仕上がります。高齢の方やお子様にも安心して召し上がって頂けます。絹ごし豆腐に上新粉を混ぜるだけで、下処理いらずのお手軽レシピなので是非作ってみてください。



【作り方】

1. 上新粉と豆腐を混ぜ合わせる。
2. お好きな形に成型し、沸騰したお湯の中に入れ、浮いてきたら氷水に入れる。
3. お好みに、ぜんざいにしたり、みたらしのタレをかけたりとお召し上がりください。

【Point】成型しづらい場合は、上新粉を増やしてください。

【材料:1人分】

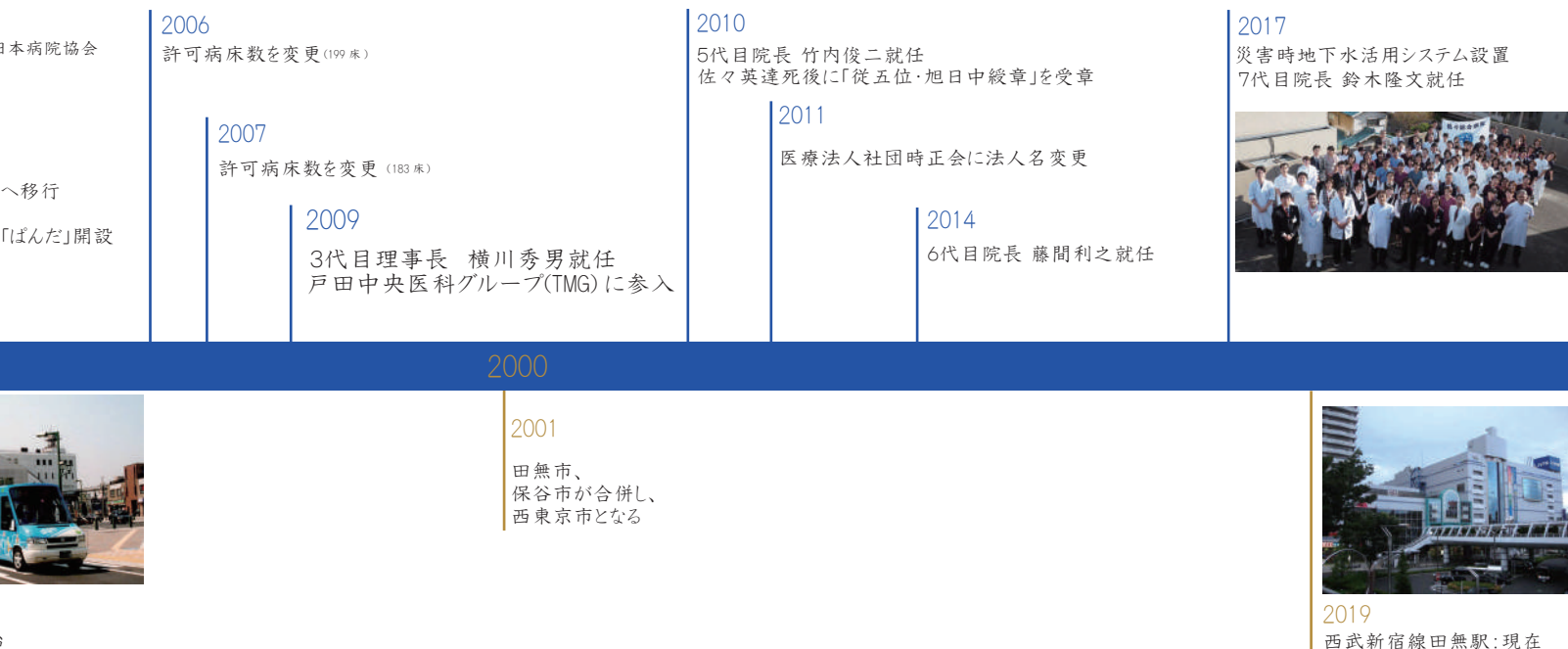
上新粉 20g
絹ごし豆腐 30g

お好みにぜんざいやみたらしをご用意ください。

【食レポ by 広報委員会】

今回はぜんざいをいただきました。食感はお餅なのに、噛みやすいので大人から子どもまで食べやすいと思います。ベースが豆腐なので、みそ汁に入れて雑煮風にしても合いそう!と感じました。

歴史年表を作成しました。



Introduction of new doctors

新任医師のご紹介

2019年11月入職

京田 茂也
Shigeya Kyoda

乳腺外科

〔役職〕部長

〔卒業大学〕東京慈恵会医科大学

〔資格〕

医学博士

日本外科学会専門医

日本乳癌学会専門医



2019年12月入職

西尾 真一
Shinichi Nishio

内科・糖尿病内科

〔役職〕医長

〔卒業大学〕信州大学

〔資格〕

医学博士

日本内科学会認定内科医

日本内分泌学会専門医・指導医・評議員

日本糖尿病学会専門医・指導医

日本老年医学会専門医・指導医・代議員

日本肥満学会専門医・指導医・評議員

日本甲状腺学会専門医



Palliative Care Outpatient Start

緩和ケア外来開始

看護外来とは、専門的な知識や技術を持った看護師が、通院治療中の患者様やご家族様の療養生活上の相談をお受けするための外来です。

がん看護の緩和ケア認定看護師が病態や治療、副作用、療養生活についての不安や心配ごとなどお話を伺いし支援させていただきます。「病気に伴う気持ちを聞いてほしい」「緩和ケアについて相談したい」「自宅で生活を送る上で不安がある」など患者様、ご家族様と一緒に考えさせていただきます。



緩和ケア認定看護師
岸田 順子

緩和ケア外来

〔開始時期〕2020年1月より開始

〔外来日〕第2.4週の水曜日 13:30~16:30

緩和ケア外来は予約制です。

ご予約を希望される方は、佐々総合病院までご連絡ください。

お問い合わせ 042-461-1535(代表番号)

西東京の歴史年表に掲載する写真を募集中です。

佐々総合病院では、当院と西東京市の歴史にまつわる年表を作成しています。現在、「昔の西東京」の写真を募集しています。年表に掲載しても良い写真をお持ちの方は、当院職員にお声がけください。

【掲載範囲】佐々総合病院 院内（提供写真は、大体の撮影場所と撮影年度が分かる物に限らせていただきます）

お問い合わせ 042-461-1535 佐々総合病院 広報室



住所 〒188-0011 東京都西東京市田無町4-24-15

電話番号 042-461-1535 (代表)
042-461-3333 (産婦人科)
042-461-8383 (健診センター)

健診センターへのお問い合わせ

結果説明：月・水・木・金 13:30~15:00 結果説明は、検査を受けてから2週間後以降にいらしてください。

ホームページ情報

<http://www.sassa-hospital.com/>
右のQRコードを読み込んで頂くと
サイトにアクセスできます。

